

**種の概要**

東北から九州に分布。近年見出された未記載種で、宿主は未詳。河口汽水域から内湾奥部において、干潟中・低潮帯の砂泥質表層に生息する。殻長5mm前後の長い紡錘形で、殻質は薄い。殻の表面は薄茶色半透明で成長脈は弱く、光沢が強い。産地により殻幅等に多少の変異があるが、ここではヌカルミクチキレとした。

**主要な選定理由**

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

**県内分布**

洲本市

**県内における生息状況及びその他特記事項**

新規追加種。淡路島中部の内湾最奥部にある船溜まりの一面海藻に被われた泥底でカクメイ属の一種(貝類Aランク)などともに得られたが、確認個体数は少ない。生息環境などの変化によりカクメイ属の一種と同様に2012年以降再発見されていない。播磨西部においても本種の生息可能な場所はあるが、死貝すら確認できない。

**保護上の留意点**

内湾奥部や入江、船溜まりなどの潮通しの悪い底床が還元状態の場所は、場所柄、埋め立てや浚渫されやすい。また、衛生的にも懸念されがちである。しかし、人工的に汚濁されていない限り、自然由来の還元環境は存続させるよう努める。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋